



## あけましておめでとうございます 3学期が始まりました！



学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。今年度の締めくくり3学期のスタートです。昨年に引き続きよろしく願います。学校にとって3学期は、1年のまとめの時期であると同時に、新しい年度に向けた準備の時期でもあります。特に6年生の子どもたちにとっては、中学校への進学を迎える大切な学期となります。「よいスタートを迎えるためには、よいまとめと、よい別れが必要」と聞いたことがあります。西小でのたくさんの思い出、仲間との友情を次へ進む糧として、3月の卒業、4月の入学へつなげてほしいと思っています。それ以外の子どもたちは、一つ上の学年へ、それぞれ進級します。学年が一つ上がると勉強も少し論理的で高度なものとなり、生活面で求められることも



【立派な門松：ひかり2組作】

多くなるかもしれません。得意な勉強は、さらに伸ばして、苦手なところがあればしっかり復習して、4月を迎えられますようにご家庭でもご支援よろしく願います。大切なことは、まずは子どもたちに「がんばろうとする気持ち」をもってもらうことだと思います。

新年を迎え、ご家庭でもみんな揃って目標を書くなどして表明できる機会があってもよいですね。

冬休み前の12月19日（木）校長室にうれしい来客者が…。ひかり2組で、作成してくれた門松の贈呈式が校長室で行われました。早速、職員玄関に飾らせてもらいました。門松を玄関に置くだけで、お正月を迎える雰囲気が出るものですね。

※関東は1月7日の「松の内」まで門松を飾りますが、始業式が8日なので、西小では、関西の「松の内は15日」を取り入れて、1月15日小正月まで職員玄関に飾っておりますので、ご覧いただき、お正月気分を味わっていただければ幸いです。

## 第2回学校保健委員会開催 メディアコントロールについて考える

保健委員会から  
合い言葉「30-30-30」  
メディアから  
30センチ離して  
30分使ったら  
30秒遠くを見よう！

12月18日（水）第2回学校保健委員会が開催されました。今回は、保健委員の子どもたちが「メディアコントロールについて考える」をテーマに委員会での活動をまとめた報告と提案が発表され、その後、参加していただいた学校医の先生や保護者の方々が意見交換を行いました。意見の中には「子どもたちばかりではなく、大人も依存してしまっている」「今の時代、ダメだけでは通用しなくなっている」「SNSの危険性（匿名性）については大人がしっかり伝えるべき」「誤った情報も紛れており、真実を見極める目を育てたい」「家族で話し合いルールを決めたい」など、たくさん話題に広がって、あっという間の時間となってしまいました。それだけ参加された皆さん（大人）にとっても、身近なテーマだったように思います。



【保健委員の発表を聞く参加者の皆さん】

# 西小の取組紹介⑧

がんばる西小の子どもたちと先生方を紹介します！

## ぐんぎん環境教育賞で 西小が今年之最優秀賞！

12月11日（水）西小のこれまでの取組をまとめた論文が、今年度のぐんぎん環境教育賞最優秀賞を受賞しました。

この日、校長室で、ぐんぎん財団から賞状の授与が行われました。主な受賞理由として、日頃から用務員さんにお世話になり樹木や花壇の維持管理がなされた環境で、①花壇を活用した花や野菜栽培、②地域の方にもご協力いただき実施している水稻栽培や環境学習、③PTAの方々にご協力いただいている運動会前の奉仕活動（親子清掃）、④群大・桐高と連携した環境学習の取組等が、計画的で意図的に実施されており、子どもたちの情操教育や環境教育、SDGSと関連付けられていることが評価されたものと認識しています。子どもたちには、これらの学習や体験を通して、自ら課題を見つけ、解決策を考え、よりよく生きるための行動ができるようになってほしいと願っています。今回の受賞を励みに、今後も西小の子どもたちのために、よりよい教育を提供できるようにしていきたいと思ひます。



【群馬銀行桐生支店長様から授与】

## 「熱心な授業研究で授業力向上！」先生たちもがんばっています

西小の先生たちは、変化が激しい社会の中でこれからの時代を切り拓き、たくましく生きる子どもたちに必要な力を身につけさせるために必要とされる「子どもたちが主体的に取り組む授業、友だちと交流することで考えを広げる授業、考えを深める授業」を展開するためには、どうすべきか？考えています。それぞれが考えた授業を実践し、それをもとに話し合ったり、アイデアを出し合ったりして、工夫する取組を行っています。

12月5日（金）市教委から2名の指導主事をお招きし、放課後、指導・助言を仰ぎました。いつの時代も先生方がのがんばる原動力は、子どもたちの「わかった！」「できた！」の声とその先にある笑顔と健やかな成長です。今後も、日々切磋琢磨しながら、子どもたちに向き合う先生方を応援いただければ幸いです。



【これからの授業の考える先生たち】

## 校長室から

### 「〇〇になりたい！」が、自分を高める原動力！

先日、小学6年生のなりたい職業ランキング2024トップ10を見ました。上位に並ぶ職業は、今も昔も大きくは変わらず、子どもたちにとって身近な職業が多いように思われます。しかし、それが中高生になると大きく順位が変化する職業もあります。理由は分かりませんが、私は、子どもたちが成長する過程で、徐々にリアル（現実的）に職業を捉え始めることが要因の一つになっているのではと考えます。リアル（現実的）に「労働条件・環境」「賃金・収入」「能力・適性」などを考え、その職業が自分の生活の糧となり得るか？自分自身に問いかけること（いわゆるメタ認知すること）で生じる変化かもしれません。成長とともに変化することは、決して悪いことでなく、むしろ評価すべきことだと思います。大事なことは、客観的に自己理解し、自らが決めた結論であり、簡単に「あきらめない」ということです。時に、目標や夢は、私たちが、がんばる動機やエネルギーとなります。くじけそうになっても、もうひとがんばりするためには、自分が納得できる理由や動機が必要です。小学生は「〇〇になりたい」と言葉に出してくれる子が多いですが、学年が上がるとその数は少なくなるような気がします。学校では、キャリア教育の中で、知識や体験として、将来を見据えた様々なことを学びます。それらを子どもたちが「自分事化」とするためには、家族や地域の大人の支えや関わり（応援）も必要です。子どもたちが「夢」を語るように、まずは、私たち大人から子どもたちに「夢」を語りませんか？

2024 小学6年生の「将来就きたい職業」トップ10

順位	職業	中高生
1(1)	スポーツ選手	1
2(4)	医師	6
3(2)	教員	15
4(3)	漫画家・イラストレーター	2
5(5)	研究者	-
6(-)	薬剤師	12
6(6)	動物園・遊園地	-
6(9)	パティシエ・パン屋	7
9(10)	IT関係	20
10(10)	看護師・医療関係	9

( )は昨年順位

